

このマークは本の
むずかしさをあらわしています。🌱 → 🌿 → 🌸



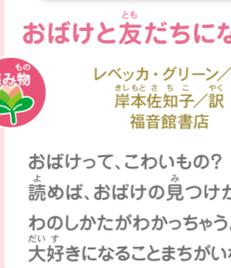
きこりとおおかみ
フランス民話
山口智子/再話
堀内誠一/画
福音館書店
スープづくりにいっしょうけんめいなきこりとおおかみさん。とちゅうでおおかみがいえにはいつてきたことにつづきます。さあたいへん。ふたりはいついどうしたでしょう？



こんとこん
てんでんありなしのまき
織田道代/ぶん
早川純子/え
福音館書店
なかよきつねの「こん」と「ごん」。ふたりいっしょにでかけると、おなじようだが、なにかがちがう。あれ？ ひみつは「」のせい？



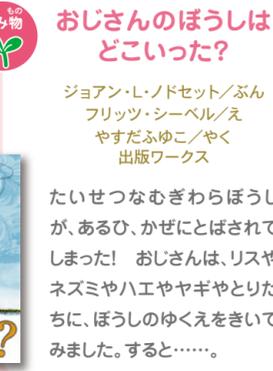
おばけと友だちになる方法
レベッカ・グリーン/作
岸本佐知子/訳
福音館書店
おばけって、こわいもの？ この本を読めば、おばけの見つけかたやおせわのしかたがわかっちゃう。おばけが大好きになることまちがいない！



オンボロやしきの人形たち
フランシス・ホジソン・バーネット/作
尾崎愛子/訳 平澤朋子/絵
徳間書店
オンボロやしきにすんでいる六人の人形たち。ポロポロになりながらも楽しく、くらししていました。しかし、大切なやしきもやされるという知らせが届いたので、さあ大変！



ぼくは川のように話す
ジョーダン・スコット/文
シドニー・スミス/絵 原田勝/訳
偕成社
うまいえない音があるぼく。ことばが出てこないときは、あわだつて、なみをうち、うずをまいて、くだける川のように話しているんだと思おう。川もぼくのようにどもってる。



おじさんのぼうしはどこいった?
ジョアン・L・ノドセット/ぶん
フリッツ・シーベル/え
やすだふゆこ/やく
出版ワークス
たいせつなむぎわらぼうしが、あるひ、なぜにとばされてしまった！ おじさんは、リスやネズミやハエやヤギやとりたちに、ぼうしのゆくえをきいてみました。すると……。



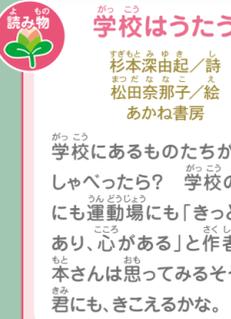
トムと3時の小人
たかどのほうこ/作
平澤朋子/絵
ポプラ社
つとむが古道屋屋さんで見かけた、赤い表紙の本「トムと3時の小人<下>」。後からだんだん読みたくなってきて、その本を図書館でさがしてみると、ふしぎなことが……。



クモのアナンシ
ジャマイカのむかしばなし
フィリップ・M・シャーロック/再話
マーシャ・ブラウン/絵
小宮由/訳
岩波書店
アナンシは、人間のすがたにもなれる小さなクモ。ちよつとずるいこともするけれど、失敗もあってどこかにくめない。村の動物たちとのゆかいなおはなしです。



学校はうたう
杉本深由起/詩
松田奈那子/絵
あかね書房
学校にあるものたちが、もし、しゃべったら？ 学校の校門にも運動場にも「きくと命があり、心がある」と作者の杉本さんは思っているそうです。君にも、きこえるかな。



ホホジロザメ
沼口麻子/文
関俊一/絵
福音館書店
ホホジロザメはサメの中でも特にこわいと思われているようです。この本で、こわさがなくなることはないけれど、ホホジロザメも一生懸命に生きていくと知ることができると。



ひとつが つくった どうぶつ の道
キム・ファン/文
堀川理万子/絵
ほるふ出版
森にできたどうろ。モモンガやシカ、ウサギたちが車にひかれていのちをおとします。それをみたにげんたちは、ちえをだします。どうろは、どうなつてしょう？



おてんばヨリーとひげおじさん
アニー・M・G・シュミット/作
フィーブ・ヴェステンドルフ/絵
西村由美/訳
岩波書店
「列車の下にどうぶつがいるの！」小さなヨリーとひげおじさんは、みんなを助けるために全速力!! 「バクショリ」まで出てきて、さあたいへん。



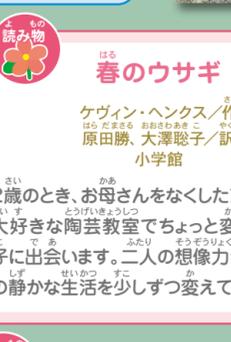
わかめ
およいで そだつて どんどんふえる うみのしょくぶつ
青木優和/文
煙中富美子/絵 田中次郎/監修
仮説社 (海のナンジャコリヤーズ2)
わかめは、うみのそこぞでちます。でもどうやって？ みんながいつも、おいしくたべているわかめのひみつ。「ええ？ わかめすごい！」ってびっくりしちゃうよ。



春のウサギ
ケヴィン・ヘンクス/作
原田勝、大澤聡子/訳
小学館
2歳のとき、お母さんをなくしたアミーリアは、大好きな陶芸教室でちよつと変わった男の子に出会います。二人の想像力がアミーリアの静かな生活を少しずつ変えてゆき……。



先生、感想文、書けませんか?
山本悦子/作
佐藤真紀子/絵
童心社
夏休みの宿題の読書感想文が書けないという、みずか。友達のおかねは、みずかが感想文を書くためのお話を作ってあげることにしました。どんなお話ができたのかな？



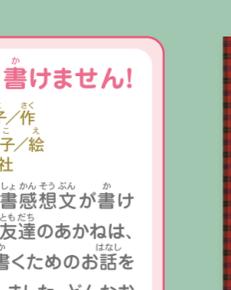
火の鳥ときつねのリシカ
チェコの昔話
木村有子/編訳
出久根育/絵
岩波書店
チェコ共和国の昔話を全24話、集めました。けちんぼのオンドリのお話。妖精にさらわれる男の子のお話。おかしな小屋のお話。あなたのお気に入りのお話を見つけてください。



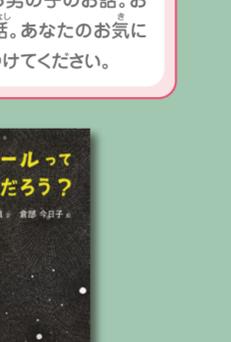
わかめ
およいで そだつて どんどんふえる うみのしょくぶつ
青木優和/文
煙中富美子/絵 田中次郎/監修
仮説社 (海のナンジャコリヤーズ2)
わかめは、うみのそこぞでちます。でもどうやって？ みんながいつも、おいしくたべているわかめのひみつ。「ええ？ わかめすごい！」ってびっくりしちゃうよ。



ブラックホールってなんだろう?
高橋うらら/著
ReBit/監修
倉部今日子/絵
福音館書店
2019年の撮影に成功するまでは、確かな証拠がなかったブラックホール。研究が進んで色々解き明かされてきている。まだまだ謎は多いけれど、くわしくなってみよう。



火の鳥ときつねのリシカ
チェコの昔話
木村有子/編訳
出久根育/絵
岩波書店
チェコ共和国の昔話を全24話、集めました。けちんぼのオンドリのお話。妖精にさらわれる男の子のお話。おかしな小屋のお話。あなたのお気に入りのお話を見つけてください。



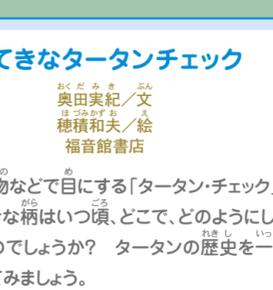
ブラックホールってなんだろう?
高橋うらら/著
ReBit/監修
倉部今日子/絵
福音館書店
2019年の撮影に成功するまでは、確かな証拠がなかったブラックホール。研究が進んで色々解き明かされてきている。まだまだ謎は多いけれど、くわしくなってみよう。



すてきなタータンチェック
奥田実紀/文
穂積和夫/絵
福音館書店
洋服や小物などで目にする「タータン・チェック」。このすてきな柄はいつ頃、どこで、どのようにして生まれたのでしょうか？ タータンの歴史を一掃にのぞいてみましょう。



みんなちがってみんなステキ
LGBTの子どもたちに届けたい未来
高橋うらら/著
ReBit/監修
新日本出版社
しんとい時、あるよね……。『小中学生くらいになると、一番生きるのがしんどかった』そんな人たちが、どうやったらみんなが生きやすくなるかを真剣に考え、活動したお話です。



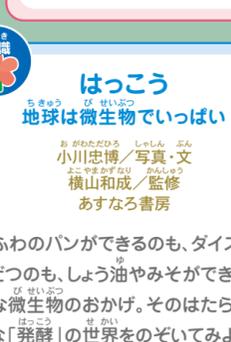
はっこう
地球は微生物でいっぱい
小川忠博/写真・文
横山和成/監修
あすなろ書房
ふわふわのパンができるのも、ダイズが大きくそだつのも、しょう油やみそができるのも、みんな微生物のおかげ。そのはたらき、いろいろな「発酵」の世界をのぞいてみよう。



和ろうそくは、つなぐ
大西暢夫/著
アリス館
職人が一本一本手づくりしている和ろうそく。どうやって作られ、なにからできているのかな。職人同士の知恵と昔から続くモノづくりの世界をのぞいてみよう。



火星のライオン
ジェニファー・L・ホルム/作
もりうちすみこ/訳
ほるふ出版
ベルは火星のアメリカ合衆国入り植地で暮らしている十一歳。地球から補給船が来た時から周りの大人たちが次々と病気に。他の国の入植地に助けを求めるとはルール違反だが……。



はっこう
地球は微生物でいっぱい
小川忠博/写真・文
横山和成/監修
あすなろ書房
ふわふわのパンができるのも、ダイズが大きくそだつのも、しょう油やみそができるのも、みんな微生物のおかげ。そのはたらき、いろいろな「発酵」の世界をのぞいてみよう。